

ソフトウェア価格一覧表

番号	ソフトウェア名称	バージョン番号	販売単価(円)	
			新規購入	バージョンアップ
1	JRSNAP(基幹部) 【静的非線形解析プログラム】 (動的解析に用いる時刻歴波形データファイルが付属しています。)	Ver.5.1-L10	1,000,000 (税込 1,100,000)	750,000 (税込 825,000)
2	Input-JR 【データ入力ツール】 (JRSNAPのオプション購入となります。)	Ver.5.1-L10	350,000 (税込 385,000)	180,000 (税込 198,000)
3	Output-JR 【照査・検索・整理ツール】 (JRSNAPのオプション購入となります。)	Ver.5.1-L10	500,000 (税込 550,000)	250,000 (税込 275,000)
4	Soil-JR 【地盤反力特性算定プログラム】 (JRSNAPのオプション購入となります。)	Ver.1.1-L10	350,000 (税込 385,000)	(新設ツール)
5	ReDisp-JR 【応答変位法支援プログラム】 (JRSNAPのオプション購入となります。)	Ver.5.1-L10	150,000 (税込 165,000)	80,000 (税込 88,000)
6	LiJudge-JR 【液状化判定プログラム】 (JRSNAPのオプション購入となります。)	Ver.1.1-L10	180,000 (税込 198,000)	(新設ツール)
7	JRElastic 【地震時以外設計プログラム】 (JRSNAPのオプション購入となります。) (VePP連携で部材照査可、単独稼働では機能が限定されます。)	Ver.1.1-L10	800,000 (税込 880,000)	(新設ツール)
8	JRBOX 【開削トンネル設計プログラム】 (耐震設計でJRSNAPとの連携が必要、地震時以外は単独稼働が可能)	Ver.4.0-L01	700,000 (税込 770,000)	520,000 ^{*2} (税込 572,000)
9	JRCS 【ケーソン基礎設計プログラム】 (耐震設計でJRSNAPとの連携が必要、地震時以外は単独稼働が可能)	Ver.4.0-L02	700,000 (税込 770,000)	520,000 (税込 572,000)
10	JREP 【抗土圧構造物設計プログラム】 (耐震設計でJRSNAPとの連携が必要、地震時以外は単独稼働やJRElasticとの連携が可能)	Ver.3.0-L02	700,000 (税込 770,000)	350,000 (税込 385,000)
11	JRKK 【鋼管矢板基礎設計プログラム】 (耐震設計でJRSNAPとの連携が必要、地震時以外は単独稼働が可能)	Ver.2.0-L03	(JRCS購入の事)	
12	VePPシリーズ 【鉄道コンクリート構造物性能照査支援プログラム】 【複合構造物の性能照査プログラム】 (JRElasticの解析結果を読み込むことで、より効率的な照査が可能)	Ver.4.1-L03	1,100,000 (税込 1,210,000)	650,000 ^{*1} (税込 715,000)
13	VePP-SC 【鋼・合成断面性能照査支援プログラム】 (JRElasticの解析結果を読み込むことで、より効率的な照査が可能)	Ver.2.0-L02	450,000 (税込 495,000)	250,000 (税込 275,000)
14	VePP-Retrofit 【耐震補強された鉄筋コンクリート柱の性能照査支援プログラム】	Ver.1.0-L04	300,000 (税込 330,000)	(新設ツール)
A	Docu-SE 【設計計算書作成支援システム】 (別途JRSNAP Ver.5.1-L03以上が必要です)	Ver.1.1-L09	700,000 (税込 770,000)	(新設ツール)
B	Aspect-SE 【任意スペクトルによる応答塑性率算定ツール】 (別途JRSNAP Ver.5.1-L04以上が必要です)	Ver.1.1-L09	100,000 (税込 110,000)	(新設ツール)

注:① 本表に示す単価は、ライセンスの形態に関係なく、1ライセンスに対する販売価格です。

② ネットワークライセンスの形態は、PC固定方式(1ライセンスの可能インストール数2台:固定ライセンス)と、フローティング方式(インストール台数無制限:フローティングライセンス)の2種類があります。その概念図は[こちら](#)をご参照ください。

③ プログラムの保守・サポートについて、購入から**1年目**は無料で実施いたします。**2年目**以降は保守・サポート料を徴収させていただきます。

④ プログラムの購入と保守・サポート料の計算及びその方法に関する説明は[こちら](#)をご参照ください。

⑤ 各プログラムの特徴および相互の連携関係について、本サイト上示されている当該プログラムの説明をご参照ください。

⑥ 「新設ツール」は設計標準の改定により更新された内容に準拠して、JRSNAP Ver.5.0から追加されたものです。

*1 VePPシリーズのバージョンアップ価格は Ver.3.0からの場合です。

*2 JRBOXのバージョンアップ価格は、保守対象者が対象です。

2022/4/27 版